

令和3年度全国学力・学習状況調査について

1 実施状況

- (1) 期 日 令和3年5月27日(木)
- (2) 内 容 ・教科に関する調査：国語、算数・数学  
・児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査
- (3) 対象学年 ・小学校 第6学年、中学校 第3学年

- (4) 校 数  
(参加予定)

	市町村立学校 (千葉県を除く53市町村) (義務教育学校含む)	県立学校		計
		特別支援学校	中学校	
小学校	643校	5校(小学部)		648校
中学校	302校	6校(中学部)	2校	310校
			合 計	958校

2 主な変更点

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施日程を約1ヶ月先送り。
- (2) 本体調査に加え、3年に1度程度実施されている経年変化分析調査(抽出)及び保護者に対する調査(抽出)を実施。(実施は後日)

3 今後の具体的な取組

- (1) 県としての調査結果の分析
- ・文部科学省の結果公表にあわせ、本県の速報として結果の概要を公表する。
  - ・県全体の調査結果について、教科に関する調査及び質問紙調査の結果をそれぞれ分析するとともに、質問紙調査の結果と教科に関する調査結果についてクロス集計を行い分析する。
  - ・分析結果をリーフレット及び報告資料にまとめ、各市町村及び学校へ周知するとともに、学力向上施策をよりよいものとするための検討材料とする。
- (2) 市町村及び学校の結果分析
- ・県独自の結果分析ツールを市町村教育委員会及び学校へ配付し、それぞれに分析を働きかけるとともに、学習指導要領の趣旨を生かした具体的な授業改善に向け、指導・助言する。
- (3) 「ちばっ子『学力向上』総合プラン」の各事業の充実・推進
- ・ICTの活用を促進し、個々の児童生徒の理解の状況に応じるとともに、端末を用いて発表や討論を行う授業を推進することにより、知識・理解の定着や表現力等の育成を図る。
  - ・各教科等で学習したことを実生活の場面で活用して課題解決する力を測る「ちばの未来デザインシート」事業を実施し、学ぶことの意味理解や意欲の向上を図る。
  - ・各学校における課題解決のためのPDCAサイクル確立を目指し、ちばっ子の学び変革推進事業として小中学校15校を検証協力校に指定し、その成果を県内へ普及する。
  - ・「ちばっ子チャレンジ100」など、県教育委員会で作成した各種問題・資料集等の活用をさらに促進する。
  - ・「学習サポーター」派遣事業として、県内小中学校へ学習サポーターを派遣し、授業や放課後に児童生徒にきめ細かな指導・支援を行う。
  - ・「学力向上交流会」の開催を通し、ちばっ子の学び変革推進事業協力校をはじめとする学校の実践事例について情報を共有し、学力向上施策の一層の推進を図る。

4 結果の公表について

全国学力・学習状況調査の趣旨を踏まえ、個々の市町村名、学校名を明らかにした調査結果の公表は行わず、県全体の調査結果の分析を主とし、県の教育施策の改善、県内児童生徒の学習状況の改善につなげる。